

守谷ボランティア NEWS

2021年8月号(毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: <http://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時(午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

学習支援ボランティア講師募集!! 「学ビト教えビトの会」

週に1回程度、地域の中学生に基礎的な学習支援(5教科)ができる方。元教員、大学生など、教えることに興味がある方を募集しています。大人たちの小さな後押しが、子どもたちの大きな力になるボランティアです。

一緒に活動しませんか。

- 日時 初回打合せ
9月9日(木) 18:00～19:00
- 会場 市民活動支援センター会議室
- 申込期間 8月11日(水)～9月5日(日)
- 申込先・問合せ先

川崎 ☎ 080-3016-3312

✉ ayak67@icloud.com



歴史講座

「江戸のもてなし」— 庶民と遊女に学ぶ —

遊女大学教草(文化4年刊)から見識、身だしなみ、慈悲などを説き、江戸のホスピタリティを取り上げて学びます。

- 講師 小泉 吉永
(法政大学文学部講師、学術博士)
- 日時 9月18日(土) 13:30～15:30
- 会場 市民活動支援センター会議室
- 定員 先着15名 ●受講料 無料
- 申込期間 8月17日(火)～9月16日(木)までに電話で申し込む
- 申込先・問合せ先 市民活動支援センター
☎46-3370
- 主催 もりやの歴史を学ぶ会
- 後援 守谷市教育委員会



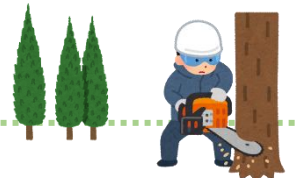
登録団体活動情報 8月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	間宮 45-3066
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 8:00～10:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸(元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
健幸ウォーキングもりや 調査ウォーキング	HP 掲載又はお問い合わせ	第4(火) 午前	横山 070-2818-5601

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

社会教育	～8/10 必着 第15回未来を強くする子育てプロジェクト 住友生命相互会社 https://www.sumitomolife.co.jp/about/csr/community/mirai_child/women/bosyu.html
環境	～8/12 第31回イオン環境活動助成 公益財団法人イオン環境財団 https://www.aeon.info/ef/
まちづくり	～8/20 令和3年度追加文化活動事業費助成対象事業(追加募集) 公益財団法人いばらき文化振興財団 http://icf4717.or.jp/
福祉医療	～8/31 令和3年度上期一般助成 公益財団法人洲崎福祉財団 http://www.swf.or.jp/



編集後記

守谷市は、市内小中学校の木の天板を県内で間伐された杉を使用したものに交換しました。近年では森林総合研究所が杉の木くずに薬剤を混ぜるなどしてできた「改質リグニン」という素材を開発し、プラスチックの代わりとなる環境に優しい新素材として注目されています。商業化すれば茨城県の新たな産業として期待が高まります。新型コロナウイルスの影響で木材の価格は高騰しています。また記録的な豪雨が増え、放置された山林で土砂崩れが相次いでいます。日本の森林のあり方を、いま一度考える時期かもしれません。



こんにちは！守谷のボランティアさん

「おしゃべり交流会」の活動に参加・取材に行きました！

☆初めてのコラボ企画！

7月4日(日)10:00～モリヤガーレにて、守谷おりがみクラブ×そら～ちのコラボ企画「おしゃべり交流会」が楽しく開催されました。

はじめに緊張をほぐすためのアイスブレイク。ブランケットを使ったゆりかごです。親御さんたちが揺らしてきて、子どもたちは大喜び！体と顔がほころんだところでメインの七夕おりがみが始まりました！(^)！



講師は若くてフレッシュな杉田先生。おりがみクラブ代表はとても明るく元気な川名さんです。

子どもたちに「上手に折れたね…。お星さまキレイだね。」とたくさん声掛けをし、楽しめるように教えていました。

おりがみを折るのが飽きても大丈夫。隣には多目的ホールがあり、飛んだり跳ねたり走ったりして、疲れたらまた戻っておりがみをする。の繰り返し。親子ともに、自由な雰囲気の中で安心しておりがみ作りとおしゃべりを楽しんでいました。



お母さんたちの感想は…



「ママたちどうして、いろんな話や相談事ができてありがたいです。」「1人で家で遊んでより、みんなと会って、触れ合う場があると親子ともに助かります。」「障がいをもった子どもたちと、もっと関わりを持てる地域にしたい」といった話が聞けました。

杉田先生も「そら～ちの皆さんが嬉しそうに折り紙に絵を書いたり、遊んでいるのを見て楽しく教えることができました。次回も楽しみにしています」との感想でした。



ディズニーランドに行けますように！



☆取材しての感想

センターで行う「おりがみクラブ」の活動とは違って、講師の先生が赤ちゃんをあやしたり、子どもたちと遊んであげたりしていて、いつもとは違う一面が見られました。他の団体との交流や、場所を変えての活動も良いですね！

(鈴木 大塚)

☆☆☆ 守谷おりがみクラブの紹介 ☆☆☆

昨年の11月に立ち上げた団体です。

おりがみの普及を通して市民の交流を図り、地域を元気にする。また、おりがみの技術を学び、個人のレベルアップを図ることを目的にしています。

☆☆☆ そら～ちの紹介 ☆☆☆

肢体不自由児、医療的ケア児のママサークル。

今年の4月に結成したばかり。

子どもの障がいについて、もっと気軽に話したい、就園や就学、病院やリハビリ etc…いろんなことをおしゃべりしませんか？と、自由にのんびりと活動中です。